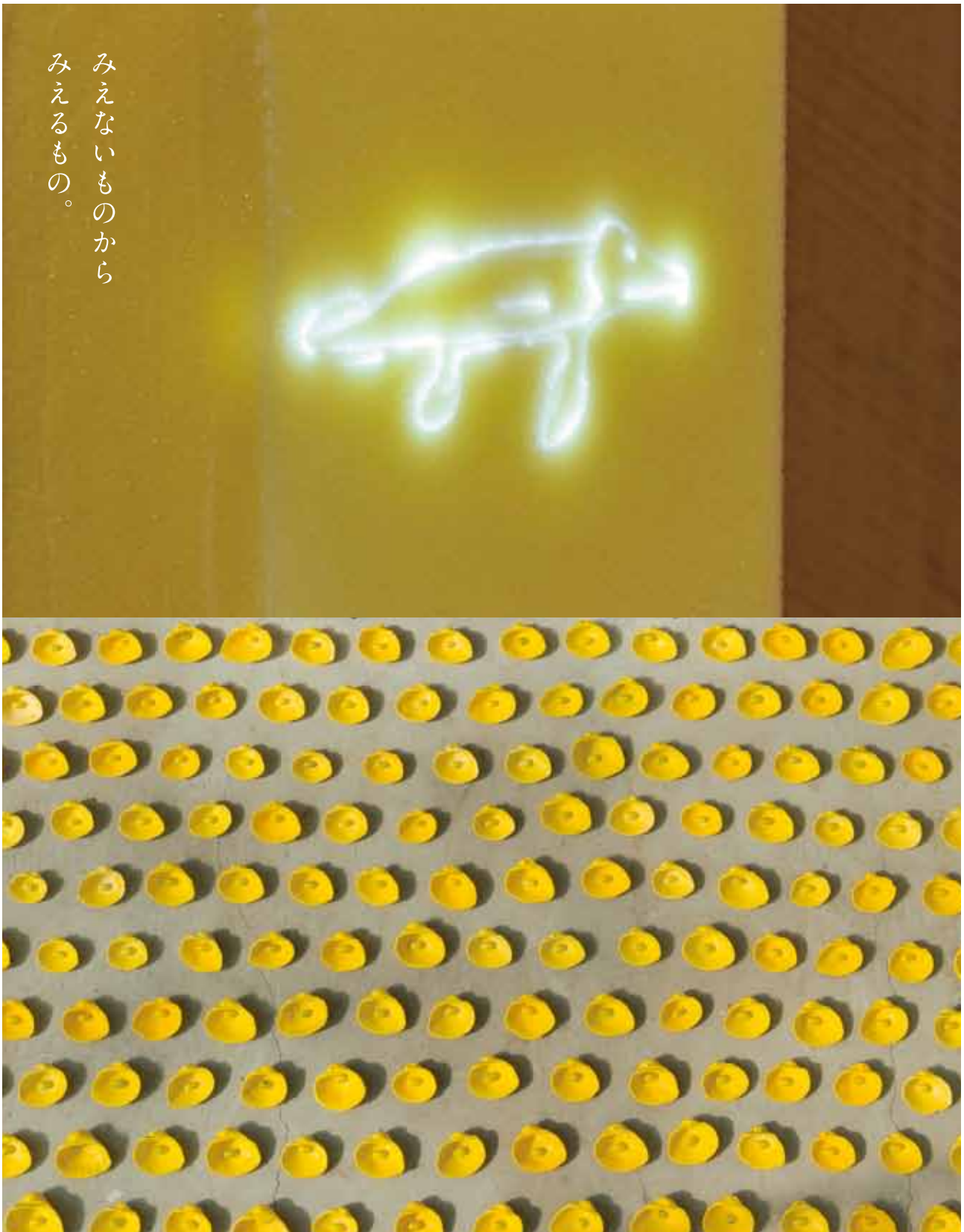


この世界の在り方——思考／芸術

みえないものから  
みえるもの。



伊藤存
小沢裕子
河口龍夫
前谷康太郎

開館時間 午前10時—午後5時(入館は午後4時30分まで) / 休館日 月曜日(ただし1月9日は開館、1月10日は休館)、年末年始(12月28日—1月4日) / 観覧料 一般600(480)円、大学生500(400)円、中学生以下無料

※同時開催「昔の暮らし」展の観覧料も含む  
※( )内は20名以上の団体料金 ※高齢者(65歳以上)および身体障がい者手帳・精神障がい者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの方ならびにその介護の方は各当日料金の半額となります。○観覧無料の日 12月25日(日)、2017年1月22日(日)

主催 芦屋市立美術館  
助成 公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団  
協賛 株式会社オーエス  
後援 兵庫県、兵庫県教育委員会、兵庫県社会福祉協議会、公益財団法人兵庫県芸術文化協会、神戸新聞社、NHK神戸放送局、FM802  
協力 京福電気鉄道株式会社、横田茂ギヤラー、タカ・イシイギヤラー  
〒659-1005-2  
兵庫県芦屋市伊勢町12-25  
TEL 079713815432  
<http://ashiya-museum.jp/>

2016年12月10日(土) — 2017年2月12日(日) 芦屋市立美術館

この世界の在り方 思考／芸術

本展では、立体、平面、映像などの現代美術の作品と併せ、当館コレクションの近現代美術作品や考古・歴史資料を展示し、「思考」について考えていきます。

見えるものと見えないものの関係性をテーマに1960年代から国内外で活躍する河口龍夫、刺繍作品や彫刻、アニメーションなどの手法で日常の断片を紡ぎ出す伊藤存、映像や文字や音のズレから意識の焦点を揺り動かす小沢裕子、自然光や電灯などあらゆる光を収集し、それらを構成要素とする映像作品を発表する前谷康太郎。

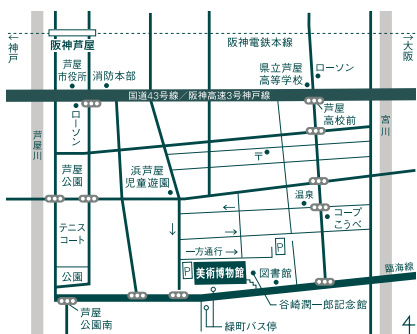
現実とは、見えているものだけが全てではなく、見えていない世界も確かに存在しているという事実。一つの視点で物事をとらえる危うさは大きく、この世界が向き合っている真実を見据え、見えない部分を想像し、多様な視点で認識するための力の重要性はますます高まりつつあるでしょう。

彼らが生み出す作品は、見える事実とその向こう側にある真実を気付かせてくれ、この世界のとらえ方を再考する手がかりを提示してくれると考えます。

本展が、自らの考えや思いを導き出す「思考」を深める場として、存在したいと願っています。

●関連イベント

- ①オープニングイベント  
アーティストによるギャラリートーク  
12月10日(土)14:00-16:00  
講師＝河口龍夫、伊藤存、小沢裕子、前谷康太郎(本展出品作家)  
会場＝展示室／参加費＝無料(ただし要観覧券)
  - ②ライブパフォーマンス  
1月9日(月・祝)16:00-17:00(予定)  
出演＝山／抽象版×小沢裕子(美術家)／会場＝展示室、講義室、前庭(予定)  
定員＝80名／参加費＝無料(ただし要観覧券)
  - ③対談「河口龍夫／思考と芸術めぐって」  
1月28日(土)14:00-15:30  
講師＝河口龍夫(美術家)×柳原正樹(京都国立近代美術館長)  
会場＝講義室／定員＝60名／参加費＝無料(ただし要観覧券)
  - ④上映会／前谷康太郎作品  
2月4日(土)15:00-16:00  
講師＝前谷康太郎(映像作家)／会場＝講義室／定員＝60名  
参加費＝無料(ただし要観覧券)
  - ⑤ギャラリートーク  
日時＝12月24日(土)、1月21日(土)  
両日とも14:00- 1時間程度／参加費＝無料(ただし要観覧券)
- ※全て申し込み不要、直接会場へお越しください。  
※詳しくは当館HPをご覧ください。http://ashiya-museum.jp/



●アクセス  
徒歩＝阪神電車芦屋駅から南東へ約15分  
阪急バス＝「新浜町」または「芦屋市総合公園前」行き(31・32・35・36・131系統)乗車、  
「緑町(美術博物館前)」停留所下車  
バスのりば＝①阪神電車芦屋駅一南側2番のりば ②JR芦屋駅一北側5番のりば  
③阪急電鉄芦屋川駅一南側5番のりば  
※併設駐車場＝当館をご利用の方は1時間無料  
(8:00-20:00/30分100円、20:00-8:00/60分100円)

**芦屋市立美術博物館**  
Ashiya City Museum of Art & History  
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-25  
TEL 0797-38-5432 http://ashiya-museum.jp/

表面・上／伊藤存《別府のミミック むかしからこれまで みえない土地の建築物》より 2015年  
撮影:表恒匡 下／河口龍夫《真珠になった種子》(部分) 2015年 撮影:柳原写真事務所  
※写真は全て参考図版



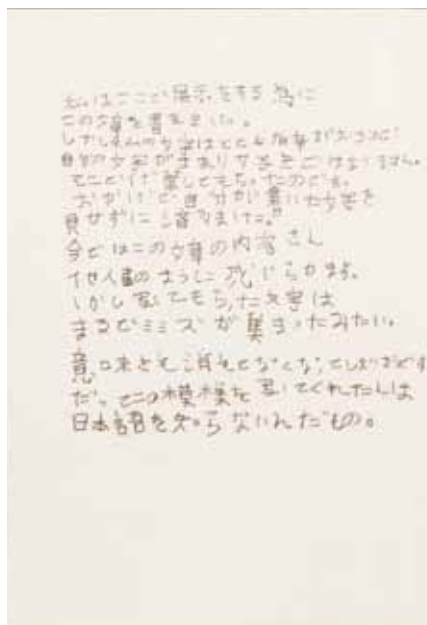
河口龍夫 《関係一浮遊する蓮の船》(部分) 2007年 撮影:齋藤さだむ



伊藤存 《みえない土地の建築物／前橋》2013年 撮影:表恒匡



前谷康太郎 《further/nearer》2012年



小沢裕子 《James》2013年